B5FK-1381-01 Z0-00

『補足情報』をお読みになる前に

このたびは、弊社の製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
お使いのパソコンはオリジナルモデルです。このため、Web『補足情報』の記載は、次のように読み替えてご利用ください。
なお、お使いのOSによって読み替え内容が異なります。ご注意ください。

Windows 7でお使いになる場合

「本書をお読みになる前に」

■「本書の表記」

次の説明を追加してお読みください。

■ 操作手順について

操作手順は、次のように読み替えてください。

- 「コントロールパネル」や「コンピューター」ウィンドウを表示する場合
  （スタート）▶「コントロールパネル」または「コンピューター」の順にクリックします。
- アプリを起動する場合
  （スタート）▶「すべてのプログラム」の順にクリックした後、起動するアプリを選択します。

■ Windowsの「サインイン」、「サインアウト」について

「サインイン」を「ログオン」、「サインアウト」を「ログオフ」と読み替えてください。

■「仕様確認表」

「SHシリーズ（SH54/J）」の仕様の一部を次のように読み替えてください。

ハンドジェスチャー		―
Sense YOU Technology		―
無線LAN	タイプ1	▲［注1］
	タイプ2	▲［注2］
	タイプ3	▲［注3］
	タイプ4	―
Bluetoothワイヤレステクノロジー	タイプ1	▲［注2］
	タイプ2	▲［注1］［注3］
クイックスタート機能	クイックモード対応	―
	ハイブリッドモード対応	―
節電ナビ		―
自動サインイン設定		―

注1： IEEE802.11a/b/g/n準拠の無線LANを搭載した機種のみ。
注2： IEEE802.11b/g/n準拠の無線LANを搭載し、モバイルWiMAXを搭載していない機種のみ。
注3： モバイルWiMAXを搭載した機種のみ。
搭載されている機能については、『キャンパスPC主要スペック一覧』をご覧になり確認してください。

「1. フラットポイント」

■「フラットポイントの使い方」→「フラットポイントがタイプ1の場合」

「■複数の指によるジェスチャー」

・「□音量を調節する」は使用できません。この記載は読み飛ばしてください。
・次の機能も使用できます。追加してお読みください。

□4本指で弾く

フラットポイントの操作面に4本の指を置き、すばやくはらいます。
次の操作ができます。

・起動中のアプリを切り替える
・ウィンドウの最小化または元のサイズに戻す

「■エッジスワイプ」

この機能は使用できません。この項目は読み飛ばしてください。

「■各機能を使えるように設定する」

この項目は、次のように読み替えてください。

各機能の設定は、「コントロールパネル」の「マウス」で行います。

Point

・アプリによっては、各機能が使えない場合があります。

1 （スタート）▶「コントロールパネル」▶「ハードウェアとサウンド」の順にクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリックします。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「デバイス設定」タブの「**Synaptics ClickPad**」を選択し、「設定」をクリックします。
「デバイス設定」ウィンドウが開きます。



3 使用する機能を設定し、「適用」をクリックします。

各設定項目に「ビデオを見る」がある場合は、クリックすると、各機能の操作方法を動画で見ることができます。

各機能は次のように設定します。

- 2本指でのスクロール
  「デバイス設定」ウィンドウの「スクロール」の左にある「+」▶「2本指でのスクロール」をクリックし、「垂直スクロールを使用する」や「水平スクロールを使用する」の □ を ☑ にします。
- つまみズーム
  「デバイス設定」ウィンドウの「つまみズーム」をクリックし、「つまみズームを有効にする」の □ を ☑ にします。
- 回転
  「デバイス設定」ウィンドウの「回転」をクリックし、「TwistRotateを使用する」や「ChiralRotateを有効にする」の □ を ☑ にします。
- 3本指で弾く
  「デバイス設定」ウィンドウの「アプリケーション操作」の左にある「+」▶「3本指で弾く」をクリックし、「3本指で弾く行為を使用する」の □ を ☑ にします。
- 4本指で弾く
  「デバイス設定」ウィンドウの「アプリケーション操作」の左にある「+」▶「4本指で弾く」をクリックし、「4本指で垂直に弾く行為を使用する」や「4本指で水平に弾く行為を使用する」の □ を ☑ にします。
- クリック
  「デバイス設定」ウィンドウの「クリック」の左にある「+」▶表示されたメニューをクリックし、操作を選択します。
- スクロール
  「デバイス設定」ウィンドウの「スクロール」の左にある「+」▶「1本指でのスクロール」をクリックし、「垂直スクロールを使用する」や「水平スクロールを使用する」の □ を ☑ にします。
- ChiralScrolling（カイラルスクローリング）
  「デバイス設定」ウィンドウの「スクロール」の左にある「+」▶「1本指でのスクロール」をクリックし、「ChiralMotionスクロール」の □ を ☑ にします。
- Momentum（モーメンタム）
  「デバイス設定」ウィンドウの「ポインティング」の左にある「+」▶「Momentum（モーメンタム）」をクリックし、「Momentum（モーメンタム）を使用する」の □ を ☑ にします。

■「フラットポイントの使い方」→「その他の設定」

「■フラットポイントのタッチの感度を変更する」→手順**4**の「●フラットポイントがタイプ**1**の場合」
この項目は、次のように読み替えてください。

1 「デバイス設定」タブの「Synaptics ClickPad」を選択し、「設定」をクリックします。
「デバイス設定」ウィンドウが表示されます。
2 「ポインティング」の左にある「+」▶「感度」の左にある「+」の順にクリックします。
3 「タッチ感度」をクリックして、タッチ感度の設定を変更します。
スライダーを「軽く」側に動かすとタッチ感度が上がり、「重く」側に動かすとタッチ感度が下がります。

Point

・フラットポイントの誤動作を軽減するSmartSense機能が搭載されています。SmartSense機能では、一定時間操作しないとき、フラットポイントの動作を一時的に停止します。この機能により、キーボードからの文字入力中などに誤ってフラットポイントに触れてしまっても動作しなくなります。
次のような調整ができます。
・「SmartSense」
フラットポイントの反応の強弱を設定します。
・「詳細フィルタ」
フラットポイントの動作を停止するまでの時間（「フィルタ有効化時間」）と、フラットポイントの動作を再開する範囲（「開始ゾーンサイズ」）を設定します。
なお、設定する場合は、「デバイス設定」ウィンドウで、「SmartSense」の中の「SmartSense」または「詳細フィルタ」を選択し、画面の説明に従って操作してください。

■「フラットポイントの有効／無効の切り替え」→「キーボードで切り替える」

このパソコンは、有効と無効のみ切り替えることができます。
なお、キーボードでの切り替えは一時的な切り替えです。
パソコンを再起動したり、スリープ／休止状態から復帰したりするとフラットポイントは有効に戻ります。

「**2.** ディスプレイ」

■「液晶ディスプレイに表示できる解像度と発色数」

表示できる解像度と発色数は、次のとおりです。

解像度（ピクセル）	発色数[注1][注2]	
	High Color（16ビット）	True Color（32ビット）
800×600	○	○
1024×768	○	○
1366×768	○	●

注1： ○は表示可能。●はご購入時の設定です。
注2： High Color … 約6万5千色
True Color … 約1677万色（擬似的に色を表示するディザリング機能を利用）

■「外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度と発色数」

「**■**外部ディスプレイコネクタ、デジタルディスプレイコネクタ、または**DisplayPort**コネクタに接続したディスプレイの場合」

表示できる解像度と発色数は、次のとおりです。

解像度（ピクセル）	発色数[注1][注2]	
	High Color（16ビット）	True Color（32ビット）
800×600	○	○
1024×768	○	○
1280×800[注3]	○	○
1280×1024	○	○
1360×768[注3]	○	○
1440×900 [注3]	○	○
1600×900 [注3]	○	○
1600×1200	○	○
1680×1050 [注3]	○	○
1920×1080 [注3]	○	○
1920×1200 [注3]	○	○

注1： ○は表示可能。ただし外部ディスプレイの解像度より大きい解像度の場合は表示できません。

注2： High Color … 約6万5千色　True Color … 約1677万色

注3： 外部ディスプレイの解像度と同じ場合、表示できます。

「**■HDMI**出力端子に接続したデジタルテレビやディスプレイの場合」

表示できる解像度と発色数は、次のとおりです。

解像度（ピクセル）	発色数[注1][注2]		出力方式とリフレッシュレート[注3]		
	High Color（16ビット）	True Color（32ビット）	720p（750p）	1080i（1125i）	1080p（1125p）
1280×720	○	○	59Hz/60Hz プログレッシブ	—	—
1360×768	○	○	—	—	—
1920×1080	○	○	—	29Hz/30Hz インターレース	59Hz/60Hz プログレッシブ

注1： ○は表示可能。ただし接続したデジタルテレビやディスプレイの解像度より大きい解像度の場合は表示できません。

注2： High Color … 約6万5千色　True Color … 約1677万色

注3： HDMI 出力端子から出力できる映像信号

「■液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示の場合」
表示できる解像度と発色数は、次のとおりです。

解像度（ピクセル）	発色数[注1][注2]	
	High Color（16ビット）	True Color（32ビット）
800×600	○	○
1024×768	○	○
1280×800[注3]	○	○
1280×1024	○	○
1360×768[注3]	○	○
1440×900 [注3]	○	○
1600×900 [注3]	○	○
1600×1200	○	○
1680×1050 [注3]	○	○
1920×1080 [注3]	○	○

注1： ○は表示可能。ただし液晶ディスプレイおよび外部ディスプレイの解像度より大きい解像度の場合は表示できません。
注2： High Color … 約6万5千色
True Color … 約1677万色（液晶ディスプレイは擬似的に色を表示するディザリング機能を利用）
注3： 外部ディスプレイの解像度と同じ場合、表示できます。

「■液晶ディスプレイとデジタルテレビの同時表示の場合」
表示できる解像度と発色数は、次のとおりです。

解像度（ピクセル）	発色数[注1][注2]	
	High Color（16ビット）	True Color（32ビット）
1280×720	○	○

注1： ○は表示可能。
注2： High Color … 約6万5千色
True Color … 約1677万色（液晶ディスプレイは擬似的に色を表示するディザリング機能を利用）

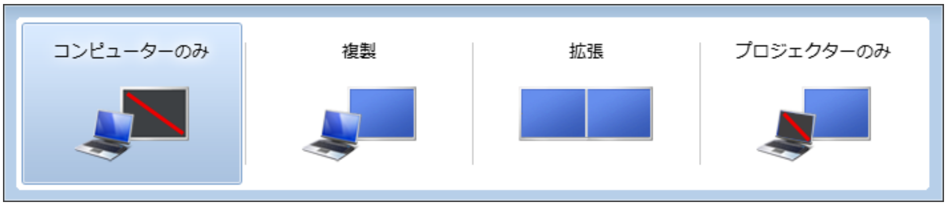
■「画面の解像度の変更」

このパソコンでは、リフレッシュレートを変更するウィンドウで発色数も変更できます。
「色」の  をクリックし、表示されるメニューから発色数を変更してください。

■「表示するディスプレイの切り替え」

「キーボードで切り替える」
＋【P】キーに関する説明を、次のように読み替えてください。

- ● ＋【P】キーを押す



2つのキーを押すごとに、「コンピューターのみ（液晶ディスプレイ表示）→複製（液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示）→拡張（液晶ディスプレイと外部ディスプレイのマルチモニター表示）→プロジェクターのみ（外部ディスプレイ表示）…」の順でディスプレイ表示方法を選ぶことができます。

「マルチモニター機能を使う」→「■マルチモニター機能をお使いになるうえでの注意」
次の説明を追加してお読みください。

・発色数についての注意
メインディスプレイ（プライマリデバイス）と2番目のディスプレイ（セカンダリデバイス）で、別々の発色数を設定しないでください。

「4. ハンドジェスチャー」

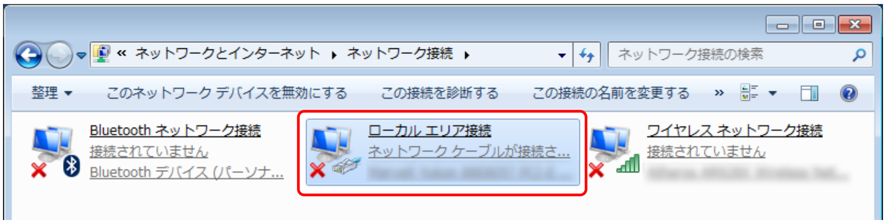
このパソコンは、「ハンドジェスチャー」を搭載していません。この項目は読み飛ばしてください。

「5. 通信」

■「LAN」→「ネットワークの設定をする」→「■TCP/IPの設定」→手順5

手順説明と画面例を、次のように読み替えてください。

5 一覧から「ローカルエリア接続」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。



■「Bluetoothワイヤレステクノロジー」

「必要なものを用意する」→ 重要の「プロファイルについて」

・このパソコンがサポートしているプロファイルは次のとおりです。
HID、HCRP、DUN、SPP、OPP、PAN、A2DP、AVRCP、HSP、HFP、FTP、BIP

・次の説明を追加してお読みください。
このパソコンがサポートしていないプロファイルを持つBluetoothワイヤレステクノロジー機器を接続すると、Bluetoothワイヤレステクノロジー機器のアイコンに「！」が追加されますが、そのままでも問題なくお使いいただけます。

「Bluetoothワイヤレステクノロジーを使うための設定をする」

この項目は、次のように読み替えてください。

パソコンとBluetoothワイヤレステクノロジー機器を接続するためには、「デバイスとプリンター」を使用します。
「デバイスとプリンター」の使用方法については、「Windowsヘルプとサポート」の「Bluetoothデバイスを追加する」をご覧ください。
「Windowsヘルプとサポート」の「Bluetoothデバイスを追加する」は次の手順で起動します。

1 （スタート）▶「ヘルプとサポート」▶「（ヘルプの参照）」▶「ハードウェア、デバイス、ドライバー」▶「**Bluetooth**」▶「**Bluetooth**デバイスを追加する」の順にクリックします。
「Windowsヘルプとサポート」の「Bluetoothデバイスを追加する」が起動します。

■「無線通信機能の電波を発信する／停止する」

この項目は、次のように読み替えてください。

パソコンに搭載されている無線LANやBluetoothワイヤレステクノロジーなどの無線通信機能の電波を発信／停止する方法について説明します。
病院や飛行機内、その他電子機器使用の規制がある場所では、あらかじめ無線通信機能の電波を停止してください。
無線通信機能の電波の発信／停止には、次の2つの方法があります。

Point

・省電力モードで無線LANやBluetoothワイヤレステクノロジーを無効にする設定にしている場合は、通常モードにしてください。

● すべての無線通信機能の電波を発信／停止する
パソコンに搭載されている、すべての無線通信機能の電波を発信／停止します。

● Bluetoothワイヤレステクノロジーの電波だけを発信／停止する
（タイプ2のBluetoothワイヤレステクノロジー搭載機種のみ）
すべての無線通信機能の電波が発信されている状態で、Bluetoothワイヤレステクノロジーの電波の発信／停止だけを切り替えます。
例えば、無線LANの電波は発信したまま、Bluetoothワイヤレステクノロジーの電波を停止したいときなどに便利です。

すべての無線通信機能の電波を発信／停止する

パソコンに搭載されている、すべての無線通信機能の電波を発信／停止します。ワイヤレス通信ランプについては、『取扱説明書』－「各部の名称と働き」をご覧ください。

Point

・Bluetoothワイヤレステクノロジーモジュールで「Bluetoothをオフにする」または「アダプターを無効にする」に設定している場合は、「Bluetoothをオンにする」または「アダプターを有効にする」に変更してください。

■ 電波を発信する

【Fn】+【F5】キーを押して、電波を発信します。電波の発信が開始すると、ワイヤレス通信ランプが点灯します。

■ 電波を停止する

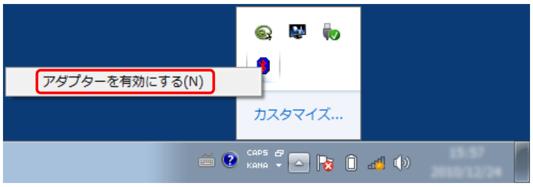
【Fn】+【F5】キーを押して、電波を停止します。電波の停止すると、ワイヤレス通信ランプが消灯します。

Bluetoothワイヤレステクノロジーの電波だけを発信／停止する

タイプ2のBluetoothワイヤレステクノロジー搭載機種のみ、次の手順で発信／停止できます。

■ 電波を発信する

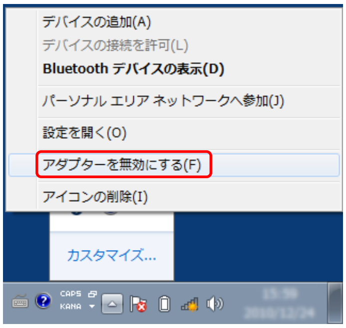
画面右下の通知領域にあるをクリックし、表示されたBluetoothアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「アダプターを有効にする」をクリックして、電波を発信します。



（画面は機種や状況により異なります）

■ 電波を停止する

画面右下の通知領域にあるをクリックし、表示されたBluetoothアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「アダプターを無効にする」をクリックして、電波を停止します。



（画面は機種や状況により異なります）

「6. クイックスタート機能」

このパソコンは、「クイックスタート機能」を搭載していません。この項目は読み飛ばしてください。

「7. スリープ／休止状態」

■「スリープ／休止状態とは」→「休止状態」→「■休止状態にする」

・この項目は、次のように読み替えてください。

1 （スタート）▶ シャットダウン の ▶「休止状態」の順にクリックします。
ディスプレイの表示が消え休止状態になります。

・Point の「休止状態」が表示されていない場合に関する説明は、このパソコンには該当しません。この説明は読み飛ばしてください。

「8. 節電のための設定」

■「節電ナビ」

このパソコンは、「節電ナビ」を搭載していません。この項目は読み飛ばしてください。

■「省電力ユーティリティ」→「省電力モードの設定変更」→「■省電力モードの設定を変更する」

手順3では次の設定も変更できます。追加してお読みください。

・「省電力モードで起動する際にメッセージを表示する」
☐ を ☑ にすると、省電力モードのままWindowsの電源を切って再びWindowsを起動したときに、メッセージを表示します。

「10. 指紋認証」

■ 全体

「認証方法の選択」画面の「AuthenTec指紋ドライバ」を「指紋センサー」に読み替えてください。

■「指紋認証を使う」

・Point のWindowsのパスワードについてに関する説明は、次のように読み替えてください。

Windowsのログオンパスワードについては、（スタート）▶「ヘルプとサポート」の順にクリックしてWindowsヘルプを表示し、「パスワード」で検索して「コンピューターをパスワードで保護する」をご覧ください。

・次の説明を追加してお読みください。

Point

・複数ユーザーで指紋認証を使う
複数のユーザーの指紋を登録し、簡易ユーザー切り替え機能を有効にすると、指紋を読み取らせるだけでユーザーの切り替えができます。（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Softex」▶「OmniPass コントロールセンター」▶「システム設定の変更」▶「Windows簡易ユーザー切り替え機能の設定」の順にクリックし、表示されるウィンドウの説明に従って操作してください。

「11. アプリ（ソフトウェア）」

■「Windows ストア アプリ」

このパソコンには該当しません。この項目は読み飛ばしてください。

■「デスクトップアプリ」

「デスクトップアプリをインストール／アンインストールするうえでの注意」
ユーザーアカウントの種類を確認する手順説明では、「ユーザーアカウントとファミリーセーフティ」を「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」に読み替えてください。

「インストール」→「■「**Office 2010**」をインストールし直す」
次の説明を追加してお読みください。

Point

- 「Office 2010」を再インストールした場合は、「Microsoft Outlook 2010」が既定のメールソフトに登録されません。
  「Microsoft Outlook 2010」を既定のメールソフトとして登録する場合は、次の手順で登録してください。
  1. （スタート）▶「既定のプログラム」▶「既定のプログラムの設定」の順にクリックします。
  2. 「Microsoft Outlook」▶「すべての項目に対し、既定のプログラムとして設定する」▶「OK」の順にクリックします。
- 「Microsoft Outlook 2010」をスタートメニューに登録する場合は、次の手順で登録してください。
  1. （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Microsoft Office」の順にクリックします。
  2. 「Microsoft Outlook 2010」を右クリックし、表示されたメニューから、「スタートメニューに表示する」をクリックします。

「アンインストール」
次の説明を追加してお読みください。

■ ソフトウェアを削除した後に

- 削除したソフトウェア名がメニューに残った場合
  削除しても、（スタート）▶「すべてのプログラム」で表示されるメニューの中に削除したソフトウェア名が残り、ポイントすると「（なし）」と表示される場合があります。ソフトウェア名を右クリックし、表示されるメニューから「削除」をクリックして、「はい」をクリックするとメニューから削除できます。
- パソコンを起動するたびにエラーが表示される場合
  ソフトウェアを削除しても、「スタートアップ」フォルダーに、そのソフトウェアのショートカットアイコンが登録されたままになっていると、「ショートカットエラー」というメッセージが表示されることがあります。
  次の手順で、「スタートアップ」フォルダーから、該当するショートカットアイコンを削除してください。
  1 （スタート）をクリックします。
  2 「すべてのプログラム」を右クリックし、表示されるメニューから「開く - All Users」をクリックします。
  「スタート メニュー」ウィンドウが表示されます。
  3 「プログラム」▶「スタートアップ」の順にクリックします。
  登録されているソフトウェアの一覧が表示されます。
  4 削除したいソフトウェアを右クリックし、表示されるメニューから、「削除」をクリックします。
  5 「はい」をクリックします。

「12. 自動サインイン設定」

このパソコンは、「自動サインイン設定」を搭載していません。この項目は読み飛ばしてください。

「13. ハードディスクの領域について」

『オリジナルモデルをお買い上げのお客様へ』－「10 付録」－「ハードディスクの領域について」をご覧ください。

Windows 8でお使いになる場合

「本書をお読みになる前に」

■「仕様確認表」

「SHシリーズ（SH54/J）」の仕様の一部を次のように読み替えてください。

Sense YOU Technology		―
無線LAN	タイプ1	▲［注1］
	タイプ2	▲［注2］
	タイプ3	▲［注3］
	タイプ4	―
Bluetoothワイヤレステクノロジー	タイプ1	▲［注2］
	タイプ2	▲［注1］［注3］
節電ナビ		―

注1： IEEE802.11a/b/g/n準拠の無線LANを搭載した機種のみ。
注2： IEEE802.11b/g/n準拠の無線LANを搭載し、モバイルWiMAXを搭載していない機種のみ。
注3： モバイルWiMAXを搭載した機種のみ。
搭載されている機能については、『キャンパスPC主要スペック一覧』をご覧になり確認してください。

「5. 通信」

■「Bluetoothワイヤレステクノロジー」

「必要なものを用意する」→ 重要の「プロファイルについて」
タイプ1のBluetoothワイヤレステクノロジー搭載機種がサポートしているプロファイルは、「LIFEBOOK AHシリーズ」と同じです。「LIFEBOOK AHシリーズ」の記載をお読みください。

「8. 節電のための設定」

このパソコンは、「節電ナビ」を搭載していません。この項目は読み飛ばしてください。

「12. 自動サインイン設定」

このパソコンでは「予約されたテレビ番組を録画するときに、自動でサインインする」は利用できません。他の設定でお使いください。

1301-1